

自ら書く(鉛筆などで)ことを大切に！

令和8年5月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人



あらたふと青葉若葉の日の光 (松尾芭蕉)

4月：ハナモモ
(本村町)

子供たちの活躍を紹介します。2つです。

1つ目は、第45回全国高等学校空手道選抜大会に出場した庄原中出身の新井梓さん(現在：香川県の高校在籍)が優勝したことです。先月1日に、試合の様子などの報告がありました。練習の成果がなかなか発揮できない時期もあったそうですが、努力を重ね、困難を乗り越え、見事優勝しました。おめでとうございます。次の目標も力強く「インターハイ優勝です」と述べています。応援しています。

2つ目は、「百三小道」(西本町)の整備が行われ、先月9日(木)に完成を記念し「倉田百三パネル紹介除幕式」が行われたことです。この整備計画には、庄原小学校6年生が総合的な学習の時間を活用し、語らいや憩いの場、文学に親しむ場となるようなアイデアを出し、そうした意見や願いが反映されています。参加した6年生が校歌(作詞：倉田百三)を合唱しお祝いしました。

さて、今回は「自ら書く(鉛筆などで)ことを大切に！」について触れてみます。

私たちの生活では、手続きや連絡、調べ物など、ほとんどの場面がデジタル化されパソコンを使うことが当たり前ようになってきています。それはスピードも便利さも効率性も大きく、社会生活をしていくうえで欠かせない道具となっているからです。さらに最近では、生成AIを使えばほとんど自ら考えることもなく簡単に答えが提示されることもあります。

こうした中で子供たちの学びや成長を考えた時、パソコン活用では育まれにくい力があることも意識して日常生活の過ごし方を考えてみる必要があります。

近年の研究では、手書き(鉛筆などで)のときには、脳の広い領域が活発に働き、記憶の定着や理解の深まりに効果があることが示され、さらに自分の考えを整理し、言葉を選びながら表現できる力が育つといわれています。また、メモを書くときも、文を綴るときも発想が広がり創造力も高めることにつながっていきます。静かに書く時間は、心を落ち着かせ、自らを振り返り自分と向き合う機会にもなります。もう一度、自ら手書きをすること、その時間を意識してみましょう。

デジタルの便利さを活かしつつ、子供たちが鉛筆などで書く経験や取り組みも大いに大切にしていきたいと考えています。家庭においても、メモや日記、手紙など、日々の生活の中でも「自ら書く時間」を意識していただきたいです。その積み重ねが、子どもたちの確かな学びと成長につながります。

※ 次ページ：4月の活動等の中から、一部写真で紹介します。

令和8年 4月 : 活動など ちょっぴり紹介



4月1日(水) **全国大会優勝報告**

庄原中出身 **新井梓さん**(高松中央高2年)

●大会名

「令和7年度JOCジュニアオリンピックカップ・

第45回全国高等学校空手道選抜大会」

(令和8年3月24日～26日 長野県で開催)



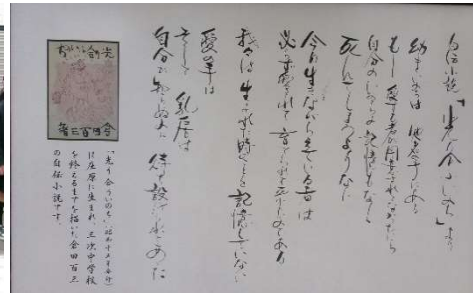
4月3日(金) 令和8年度特別支援教育支援員・学校司書研修会



4月4日(土) 東城まちなみ春まつり (三楽荘)



4月5日(日) 第10回庄原さくらフェスティバル(庄原上野総合公園)



4月9日(木) 倉田百三紹介パネル除幕式 庄原小6年 校歌(作詞:倉田百三)斉唱



4月16日(木) 学校訪問(比和中)

4月16日(木) 学校訪問(比和小)



4月20日(月) 学校訪問(東小)



4月20日(月) 学校訪問(板橋小)

4月21日
(火)
学校訪問
(総領小)



4月21日
(火)
学校訪問
(総領中)

4月22日
(水)
学校訪問
(小奴可小)



4月22日(水) 学校訪問(東城小)



4月27日(月) 東小学校 長寿命化改修事業完成式典



4月28日(火)
第1回 初任者研修会



講話 「子供たちの成長に喜びを！」